

# あの頃の津山

## 再建天守閣(張りぼて天守) の地鎮祭 (昭和11年2月15日)

写真提供(上段・中段・江見写真館)



地鎮祭の様子



ありし日の再建天守閣



現在の天守閣跡

上段の写真は昭和11年2月15日に天守閣跡の石垣の上で行われた再建天守閣の地鎮祭の様子です。

この天守閣は、同年3月22日から開催された姫新線全通記念博覧会の目玉として、津山商工会議所を中心とした協賛会によって公開されました。

地鎮祭から博覧会開催までの期間を考えると、わずか1カ月ほどで完成したことになります。

天守閣は建設業者が建築・所有し、協賛会が当時の金額で7千円の賃借料を支払い、展覧会のために借り受けました。そして、5月5日の博覧会終了後、40日以内に建設業者が建物を撤去することになっていました。ところが、解体工事が始まる前に、その建設業者の経営が悪化して天守閣の所有権が債権者の手に渡り、取り壊すことができなくなりました。

その後も取り壊されることはなく、昭和20年に空襲の目標になるかもしれないという理由から取り壊されるまでの9年間「張りぼて天守」の愛称で多くの市民に親しまれました。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

岡津山郷土博物館 ☎ 22・4567

### つぶき やまき 編集室

新米を使った米料理、どれもおいしかったな。2種類のルーを混ぜ合わせ、スパイスの可能性を探るカレー。手作りしたとろとろのホワイトソースとこれまたとろとろのチーズが絶妙に焦げたドリア。鍋に入れたすすべての食材のうまみが新鮮卵で合わさる雑炊。…あれ、お米のこと褒めてないかな。(´▽`)

わたしは行事の取材では、あまりの食べ物を食べないのですが、先日のイベントでは人から撮ったてのコロッケをもらい、一心に食べました。近くにいた人に「写真に撮りたいくらい、おいしいような顔で食べているね」と言われました。今後は我慢しないで食べてPRに協力することにします。(G)

5ページの「子どもの視線」。わたしは先入観から「楽しい先生や面白い先生が中学生の印象に残っているだろう」と思っていたので、とても頼もしく感じました。自身に顧みれば、高校時代、人生訓を語ってくれた恩師が思い出の先生「自動車はブレーキがあるから進める。止まることの大切さ」(修)

### 今月の表紙

10月28日  
津山まつり(田町)

奴隊行列そろえて  
はなやかに

編集・発行(毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 ✉kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページ  
で閲覧できます

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ

広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください

